






0251

第一八八號

保存期限		決裁指定		決行指定	
受領番		件名		大臣	
密受第八三〇號		第十四師團長部下隊一部ノ東京派遣ニ関スル件同特別規定ノ件		 局長 主務 次官 政務 次官 參與官 書記官 審案 筆記者	
昭和三十二年五月十三日		昭和三十二年五月十三日		軍事洋第八二號	
昭和三十二年六月十四日		昭和三十二年五月十三日		 局長 主務 課長 高級 副官 主務 副官 主務 課員   	
決行後 行覽 (裁決)		連帶		長局 長課 長課 長課	

政務次官 回付 決裁 前連帶 後課程名 決行(決裁)後 警保徴發 18

參謀總長へ回答案

(陸密)

五月二十日附參密第一八九號第一ヲ以テ照會ノ件  
異存ナク特別規定ニ関シテハ合達スヘシ

陸密第四四〇號

昭和二年五月廿九日

允裁後

第十四師團長隸下部隊一部ノ東京派遣

ニ関スル件制定方施行ノ件

上奏案

第十四師團長隸下部隊一部ノ東京派遣ニ関スル

件允裁相成候ニ付テハ別紙軍令案ノ通シカ

施行ヲ命セラル度 謹テ奏ス

第十四師團長隷下部隊一部ノ東京派遣

ニ関スル特別規定ノ件

陸軍一般へ達案

(陸密)

第十四師團長隷下部隊一部ノ東京派遣ニ関スル特別規定左ノ通定ム

(以下別紙)

陸密第四四五號

昭和十一年五月卅日

理由書

東京市内外ノ情勢ニ戒嚴解止後ト雖當分ノ間警備ヲ相當嚴ナラシムルノ要アリ然ルニ在京軍隊ノミヲ以テシテハ警

五月三十日

<p>備使用可能兵力稍、而十分ナルヲ以テ第十四師團長隸下      部隊ノ一部ヲ東京市ニ増派シ以テ東京警備司令官      ノ警備区域ニ於テ警備使用可能兵力ヲ増加スルノ必要      ナルニ由ル</p>	<p>陸 軍</p>
---	------------

軍令案

朕第十四師團長隸下部隊一部ノ東京派遣ニ関  
スル件ヲ制定シ之カ施行ヲ命ス

御名御璽

昭和十一年五月二十日

陸軍大臣 伯耆守 寺内 寿一

軍令陸乙第二十號

五月二十日

0256

御  
説  
明

二  
二  
卷

四

## 第十四師團長隷下部隊一部ノ東京

派遣ニ關スル件ニ就テ

東京市内外ノ情勢ニ嚴解止後ト雖當分ノ間警備ヲ相當嚴ナラシムルノ要アリ然ルニ在京部隊ノ警備使  
用可能兵力ハ東京市内外ノ状態全ク平靜ニ復ミタル  
後ニ於テハ何等ノ不足ヲ感セサルモ警備ヲ嚴ナラシムル  
要スル現況ニ於テハ稍々不十分ナルヲ以テ第十四師團長隷  
下部隊中歩兵一大隊ヲ東京市ニ増派ス而シテ其派遣  
時期ハ部隊ヲシテ現地ニ親突セシムル為ニ嚴解止以前トシ  
且二年兵ノ退營ニ依ル兵力減少ヲ補フ為ニ當初約六月間ハ  
更ニ歩兵一中隊ヲ増加スルコトトセリ  
派遣部隊ノ隷屬系統ニ何等變更ヲ加ハサルモ警備ニ  
關シテハ直接東京警備司令官ノ指揮ヲ承ケシメ又派

陸軍部隊ノ教育、訓練等ノ關係ヲ顧慮シ約三月毎ニ第  
 十四師團長ヲシテ交代セシメ得ルコトトセリ





至急  
秘

參謀本部  
參密第一八九號第一

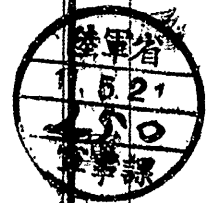
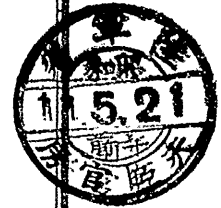
第十四師團長隸下部隊一部ノ東京派遣ニ關スル件、同特別規定ノ件照會

昭和十一年五月二十一日

參謀總長 載仁親王

陸軍大臣 伯爵 寺内壽一 殿

首題ノ件別冊ノ通起案セシニ付異存ナクハ前者ニ在リテハ連署可仰 允裁、後者ニ在リテハ令達方取計ラハレ度照會ス



0920



軍務部 用第 一 卷

昭和十一年十一月十一日  
軍務部 用第 一 卷

第十四師團長隷下部隊一部ノ東京激遣ニ關スル件



特別秘

決案

軍令陸乙案

第十四師團長隸下部隊一部ノ東京派遣ニ關スル件

第一條

當分ノ内第十四師團長隸下部隊中陸軍平時

編制附表第八號其一ニ依ル步兵一大隊ニ經理衛生等

要人員ヲ増加シ又當初約六月間ハ更ニ歩兵一中隊ヲ増加スヲ東京市ニ派遣駐屯

セシム

第二條

第十四師團長ハ約三月毎ニ前條派遣部隊ヲ

交代セシムルコトヲ得

第三條

派遣大隊長ハ依然第十四師團長ノ統率ニ屬

ス但シ警備ニ關シテハ直接警備司令官ノ指揮ヲ承

ク

第四條

本令實施ノ細部ニ關シテハ陸軍大臣參謀總

0262

長協議決定ス

附則

本令ハ昭和十一年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

## 陸軍

第十四師團長隸下部隊一部ノ東京派遣ニ

關スル特別規定

第一條 本規定ハ昭和十一年軍令陸乙第 號第十四

師團長隸下部隊一部ノ東京派遣ニ關スル件實施ニ

關スル細部ノ事項ヲ規定ス

第二條 派遣部隊ハ步兵第一聯隊兵營ニ駐屯スルモ

ノトス

第三條 派遣大隊長ハ内務ニ關シテハ步兵第一聯隊

留守隊長ノ指揮ヲ承クルモノトス

第四條 派遣部隊ノ給與ハ別ニ定ムルモノノ外第一

師團之ヲ擔任スルモノトス

派遣部隊ノ會計事務ノ監督ハ第十四師團經理部長ノ所管トス

第五條 派遣部隊ノ鐵道輸送ハ第十四師團之ヲ擔任スルモノトス

第六條 派遣部隊ノ裝備ハ第十四師團長東京警備司令官ト協定決定スルモノトス

第七條 第十四師團長ハ派遣部隊ヲ交代セシムル場合ニハ豫メ陸軍大臣及參謀總長ニ報告シ且東京警備司令官及第一師團留守司令官ニ通報スルモノトス

## 軍令陸乙第 號

第十四師團長隷下部隊一部ノ東京派遣ニ關スル件

第一條 當分ノ内第十四師團長隷下部隊中陸軍平時編制附表第八號其一ニ依ル步

兵一大隊

經理、衛生等ニ關スル所要人員ヲ増加シ又當初約六月間ハ更ニ歩兵一中隊ヲ増加ス

ヲ東京市ニ派遣駐屯セシム

第二條 第十四師團長ハ約三月毎ニ前條派遣部隊ヲ交代セシムルコトヲ得

第三條 派遣大隊長ハ依然第十四師團長ノ統率ニ屬ス但シ警備ニ關シテハ直接東

京警備司令官ノ指揮ヲ承ク

第四條 本令實施ノ細部ニ關シテハ陸軍大臣、參謀總長協議決定ス

## 附 則

本令ハ昭和十一年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

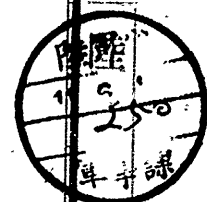
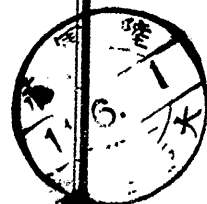


閣

秘

參謀本部 參密第一八九號第三

陸軍第八三〇



軍

第十四師團長裁下部隊一部ノ東京派遣ニ關スル件御裁可ノ件通牒

昭和十一年五月三十日 參謀總長 載仁親王

陸軍大臣伯爵 寺内壽一 殿



首題ノ件別冊ノ通御裁可相成タルニ付通牒ス

追テ御裁可書ハ用濟後返戻相成度申添フ

御裁可書返戻ノ件

左記御裁可書用濟ニ付返戻ス

左記

一 第一師團長裁下部隊一部ノ東京派遣ニ關スル件御裁可書  
一 第一師團長裁下部隊一部ノ東京派遣ニ關スル件御裁可書  
一 第一師團長裁下部隊一部ノ東京派遣ニ關スル件御裁可書

參密第四八號 昭和十一年六月一日



軍事

第八三〇號

電報譯

六月五日 午前七時一分發

大臣宛 發信者 師團長

九月八日東京派電 師團長 著

6/11

陸軍省 11.6.5 軍事課

陸軍省 11.6.5 250 軍事課

下

第 號

回覽課 主務課

原簿通記回覽

8920

# 陸軍電信著信紙

著信局 三九 <small>通過香號</small> 受信時分 午後 八時〇分 技手 著信香號	發信局 吉田一 クニモト 一六 〇七時三〇分	受氏 人名 リクグ ンガイ シン	指 定 ムヨ 同文	本文 サレリンルハノトウケケハケン タイワホンロビマ シ トウチマクヌ ニロシヤコ
記事 ニ ソウチウー				日附印 陸軍省 11.6.4 電信取扱所

注意  
 一、八月日ヲ記入セズ  
 二、午前午後ヲ示ス

録筆名